

1, ピアノ・ソロ

高橋楓・中等部2年 (Pf)

●幻想即興曲／F.ショパン

即興曲 第4番 嬰八短調 遺作 作品66は、ショパンの4曲の即興曲のうち最初に作曲され、死後1855年、ユリアン・フォンタナの手によりファンタジー・アンプロンプチュ (Fantaisie-Improvisation) と題して出版されました。速いテンポで情熱的に進み、中間部には美しくおだやかな調べが挿入されています。まるでやわらかい陽の光が差しきてその中にいるような情景が浮んできました。今の自分の出せる音を。精一杯頑張ります。

2, ピアノ・ソロ

崎尾悠人・高等部3年 (Pf)

●ピアノ・ソナタ 第1番 作品2-1 第1楽章／L.v.ベートーヴェン

この曲は、古典的なソナタ形式（提示部、展開部、再現部）に基づいた、ダイナミックでエネルギッシュな楽曲です。ハイドンの影響を受けた初期の作品でありながら、古典派の形式美とベートーヴェンならではの情熱的な表現が融合しています。特徴としては、「音楽的な方向性や、急激な強弱の変化」が挙げられ、初期の作品ながらその後のベートーヴェン作品に繋がる個性が感じられます。

3, ピアノ・ソロ

川崎陽向・中等部3年 (Pf)

●ポロネーズ 第6番 「英雄」 変イ長調 作品53／F.ショパン

「ポロネーズ」は独特のリズムが特徴のポーランドの民族舞曲。7歳の時に初めてポロネーズを作曲してから生涯に渡って作曲しています。1842年に作曲された「英雄ポロネーズ」は、ポロネーズの中で最も有名な作品です。「英雄」というタイトルは後世につけられました。当時、故郷であるポーランドはロシア帝国の支配下にありました。祖国ポーランドの為に戦い続けた兵士達への想いを込め、ポーランドの独立を願い作曲されました。序奏の後に示される主題はまさに雄渾そのもので力強く発展し、中間部では左手のオクターヴの動きの上で新たな軍隊行進曲風の主題が奏されます。また美しい旋律が現れる部分もあり、音楽的にも技巧的にも魅力満載な楽曲です。

4, 声楽・ソロ

宮間陽子・単科 (Vo)

中村明子・指導講師 (Pf 伴奏)

●セレナーデ／F.シューベルト

この曲は夜に恋人の窓辺で歌うセレナーデの伝統で、内なる情熱を秘めた美しくもせつなく悲しいメロディが心にせまる愛の歌です。この詩はベートーヴェンの手元にあったものを彼の死後弟子のシントラーによってシューベルトにもたらされました。僕の願いをそっと歌に託してあなたに届かせる 静かなこの林の中に下りて来て 愛する人よ 僕と一緒にしておくれ 愛する人よ 来ておくれ

5, ヴァイオリン・ソロ

渡辺弘暉・特待生 (Vn)

真島圭・指導講師 (Pf 伴奏)

●死の舞踏／C.サン＝サーンス

オーケストラ作品「交響詩 死の舞踏」はフランスの迷信に基づいたもので真夜中に死神のダンスが不気味に繰り広げられ、夜明けと共に死神が消えていく物語です。作品の冒頭では、教会の鐘の音が 12 回打ち鳴らされ、物語の舞台が真夜中の 12 時であることが示されます。ソロヴァイオリンは通常と異なる調弦を行い、(E 線を半音下げ E \flat にする)本来の調弦では難しい不協和音を演奏することを可能としています。減五度の音程は「悪魔の音程」とも呼ばれており、このヴァイオリンは死神が弾いていることを表しています。またグレゴリオ聖歌の『怒りの日』の旋律が用いられています。今回はヴァイオリンとピアノ、作曲者自身の編曲版でお聞きください。

6, 声楽・ソロ

姫野裕子・音楽療法学科 2 年 (Vo)

前山登希子・ピアノ演奏科 2 年 (Pf 伴奏)

●赤とんぼ／山田耕作

「赤とんぼ」作詞者三木露風が幼少の頃、母が家を去りました。女中さん（ねえや）に背負われて見た赤とんぼの風景、ねえやが嫁に行ってしまった寂しい心情を詞に切々と綴っています。

「アメージンググレース」作詞者ジョンニュートンは奴隷商人でしたが、神の啓示により悔い改め正しい道に戻ることができました。その感動を詞にしました。尚、日本語詞は 10 歳の央夏が、皆の幸せを願いに込め詩を書きました。シンプルな詞が心に響きますのでお聴きください。

7, ピアノ・ソロ

田中皇晴・高等部 1 年 (Pf)

●Marigold／M2U

この曲は「Marigold」といいます。もともとは音楽ゲーム「Deemo」の楽曲ですが、私はゲームを知らず、ふいくしのんさんのピアノアレンジ動画で初めて聴きました。その美しい音色と繊細な構成に感銘を受け、演奏を決意しました。原曲は高難度のボス戦曲として知られていますが、ピアノでも緊張感と透明感を併せ持つ魅力的な一曲です。

8, ピアノ・ソロ

長澤利香・研究科 1 年 (Pf)

●ピアノ小品集 作品 76 より第 1 番、第 6 番／J.ブラームス

ブラームスは、折り々の心情をピアノ小品集として作曲しています。その多くは晩年に書かれ、瞑想的な名曲といわれています。この作品 76 は、若い頃の全盛期に書かれており、意欲的でエネルギーに満ちています。第 1 番は、敬愛していたクララ・シューマンの誕生日に送られたものといわれています。狂喜したり苦悩したりしていくブラームスの感情が表現されています。第 6 番は、抒情的で深い作品です。ブラームスの魂の音楽に身をゆだねて弾きたいと思います。

9, ピアノ・ソロ

岩岡あゆみ・専門部 (Pf)

●《前奏曲集 第2巻 (Préludes, Livre II)》より

第4曲「妖精はすてきな踊り子」／C.ドビュッシー

●《前奏曲集 第2巻 (Préludes, Livre II)》より

第6曲「風変わりなラヴィーン將軍」／C.ドビュッシー

ドビュッシー《前奏曲集第2巻》より〈妖精はすてきな踊り子〉と〈風変わりなラヴィーン將軍〉を演奏します。きらめく音の粒の中で舞う妖精たちの幻想的な世界と、どこかおどけた將軍の軽やかなステップ。夢のような繊細さと、人間味あふれるユーモアが並び、ドビュッシーの豊かな想像力と色彩感が感じられる二曲です。

10, ピアノ・ソロ

中内真理子・単科 (Pf)

●前奏曲 第12番 作品32-12／S.ラフマニノフ

ラフマニノフはロシアを代表する作曲家の一人で、この曲もロシアの雪原を行くそりの情景を描いているといわれています。雪に反射する光や、力強く駆ける馬の足音、遠くから聴こえる鐘の音など、様々な想像がうかぶモチーフがあらわれる中、左手の低音が叙情的な旋律を歌います。ロシアの広い大地を感じていただけますように、心をこめて精一杯演奏します。

11, ピアノ・ソロ

日比基就・高等部1年 (Pf)

●ピアノ・ソナタ 第3番 イ短調 作品28／S.プロコフィエフ

『古い手帳から』という副題を持つ、単一楽章で構成されたプロコフィエフの作品です。1917年サンクトペテルブルク音楽院時代に書いた若き日の草稿が改作されたものであると考えられています。フォルテの爆発とピアノシモの繊細さ、プロコフィエフ特有の「機械的精度」と「人間味の共存」を感じながら演奏したいと思います。

12, ピアノ・ソロ

和田凜太郎・高等部2年 (Pf)

●シンフォニア 第2番 ハ短調 BWV788／J.s.バッハ

●平均律クラヴィーア曲集第1巻 第2番 前奏曲とフーガ ハ短調 BWV847／J.s.バッハ

平均律クラヴィーア曲集の第一巻は1722年に、インヴェンションとシンフォニアは1723年に、自筆浄書譜が生まれました。その後もバッハ自身が改善の余地があるものは改善したため、時とともに完成されていきました。これらの曲は、バッハ自身も優れた教材として重宝しており、弟子のために平均律クラヴィーア曲集の第一巻を3回も6時間通して聞かせたこともあったそうです。バッハは優れた作曲家であり、優れた教育者でもあります。

1 3, ヴァイオリン・ヴィオラ デュオ

二田由希子・弦演奏科2年 (Vn)

久下澄江・弦演奏科1年 (Va)

●ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ハ長調/J.シベリウス

今回演奏する作品〈Duo in C〉ですが、1891年ごろの若手音楽家時代、最も自信に満ち溢れていた頃に作られました。ヴァイオリンの旋律がとても美しい曲です。ヴィオラはひたすら伴奏に徹し、ヴァイオリンを際立たせます。重音とオクターブの抑揚を楽しむドヤ顔のヴィオラに、優雅なヴァイオリンの音色が奏でる美しさに酔いしれていただければ幸いです。

1 4, 2台ピアノ (ジャズ)

高木淳一・単科

池田公生・指導講師

●チュニジアの夜/D. ガレスピー

5年前、仕事に一区切りついた時、もう後は無いと、思い切って専門部へ入学し、1年間、ジャズ理論など様々な講義や、ジャムセッションの経験など、どっぷりと音楽に浸る機会を頂きました。その後も池田先生には個人レッスンを頂いて4年目、昨年に続いて師匠、池田先生とデュオの機会を頂きました。感謝の気持ちを込めて、楽しんで演奏したいと思います。

1 5, 2台ピアノ (ジャズ)

タニシタクロー・指導講師

池田公生・指導講師

●Bill bailey/H.キャノン

私、タニシタクローと師匠、池田公生氏による2台ピアノジャズセッションです。今回はデキシードジャズのナンバーの Bill bailey を演奏させていただきます。また、私は指導講師として勤めていますが、同時に本音楽院の単科生として池田先生のレッスンを受講させて頂いています。そのレッスンの発表として今回出演させていただきます。とても楽しい曲なので、手拍子しながら楽しんで聴いて頂けたらと思います。

16, 声楽・ソロ

前田明香・研究科 (Vo)

中村明子・指導講師 (Pf 伴奏)

●サルビア／中田喜直

●さくら横丁／中田喜直

●オペレック「こうもり」より「侯爵様、あなたのようなお方は」／ヨハン・シュトラウスⅡ世
『サルビア』…サルビアの花の色を真っ赤な血に見立てた激しい愛の詩です。情熱的に歌いたいです。

『さくら横丁』…もう会えない愛しい人への切ない想いを桜に込めた歌です。舞い散る桜の情景を感じてもらえたら嬉しいです。

『侯爵様、あなたのようなお方は』…女優と偽ったアデーレは、舞踏会で侯爵に偶然出くわし「うちの女中にそっくり！」と正体がバレそうになります。誤魔化すために侯爵の間違いを笑い飛ばすアデーレ。コミカルな演技をどうぞお楽しみください♪

17, バスクラリネット・ソロ

高木大輝・管楽器リペア科1年 (B.Cl)

田村大悟・ピアノ調律科1年 (Pf 伴奏)

●バスクラリネットのためのバラード／E.ボザ

ボザ作曲《バラード》は、バスクラリネットの魅力を存分に味わえる作品。力強い冒頭から始まり、情熱的で歌うようなメロディが印象的。豊かな音色や幅広い表現力を生かしながら、静けさや高揚感など、さまざまな感情の変化を描いていく。演奏を重ねるほど新しい発見があり、バスクラリネットの深い世界に引き込まれるような一曲。

18, ヴァイオリン・ソロ

山尾一史・高校2年生 (Vn)

真島圭・指導講師 (Pf 伴奏)

●ヴァイオリン協奏曲第3番 ロ短調 作品61 第1楽章／C.サン＝サーンス

サン＝サーンスはロマン派の作曲家で、伝統的な形式を重視しつつ、洗練された美しさと繊細な表現で多くの人々を魅了しました。また、国民音楽協会を立ち上げ、フランス音楽の進展に大きく貢献しました。今回演奏する第1楽章はソナタ形式で書かれており、力強い第1主題と優美な第2主題のコントラストをしっかりと作った演奏を目指します。

19, 声楽・ソロ

城間翔・声楽オペラ科2年 (Vo)

中村明子・指導講師 (Pf 伴奏)

●Sebben, crudele/A.カルダーラ

●Quando le sere al placido/G.ヴェルディ

一曲目は、牧歌劇《愛の誠は偽りに打ち勝つ》に登場するカンツォネッタであり、ローマに現存するオペラの総譜をもとに、パリゾッティが編曲した作品です。

二曲目は、オペラ《ルイーザ・ミラー》第2幕において、ロドルフォはルイーザの裏切りを信じ込んでしまい、悲しみと怒りに満ちて「あの涙は何だったのだ！ 私を裏切ったのか！」と嘆きます。その激情の中で歌われるアリアです。

20, ファゴット・ソロ

矢木萌・専門部 (Fg)

岩岡あゆみ・専門部 (Pf 伴奏)

●ファゴット協奏曲 へ長調 第1楽章/C.シュターミッツ

春風のように軽やかに始まる第1楽章。ファゴットが低音楽器の枠を超えてしなやかに跳ね、舞うように、自由な旋律を描きます。軽快なリズムの中に華やかさと優雅さが漂い、まるで人の歌声のように柔らかく、そして俊敏に歌います。美しい旋律でシュターミッツが描いた、ファゴットの豊かな表情をお届けしたいと思います。

21, ファゴット・ソロ

嶋田美波・管楽器リペア科2年 (Fg)

岩岡あゆみ・専門部 (Pf 伴奏)

●ファゴット協奏曲 へ長調より第2楽章、第3楽章/C.シュターミッツ

カール・シュターミッツ (1745-1801) はドイツ、マンハイムの宮廷で活躍しました。協奏曲と交響曲をそれぞれ50曲以上書いています。2楽章は美しくゆったりとした緩徐楽章です。メロディが感情豊かに歌い上げられます。3楽章は軽快なリズムでスピード感のある楽章です。ピアノとの掛け合いも印象的です。今回はオーケストラとファゴットのために書かれた曲をピアノ編曲版で演奏します。

2 2, 声楽・ソロ

飯塚亮太・特待生 (Vo)

中村明子・指導講師 (Pf 伴奏)

●Tu ca nun chiagne／E.クルティス

●Torna a Surriento／E.クルティス

●Mattinata／R.レオンカヴァッロ

1 曲目、恋に破れた男の切ない心情を歌っています。彼は涙に暮れているのに女性は一切泣かない、その冷たさと悲しみを嘆く内容です。

2 曲目はナポリ地方の美しい海岸の風景と、愛する女性に戻ってきてほしいと願う恋心を歌った、代表的なナポリ民謡。「帰れソレントへ」という邦題で有名です。

3 曲目はイタリア語で「朝」を意味する Mattinata、朝の訪れとともに恋人への情熱的な愛を歌い上げる明るくロマンティックな歌曲です。

2 3, ピアノ・ソロ

前山登希子・ピアノ演奏科 2 年 (Pf)

●前奏曲 作品 13-2,11-2,11-14／A.スクリャービン

●エチュード作品 2-1／A.スクリャービン

スクリャービンのプレリュード作品 13-2,11-2,11-14、エチュード作品 2-1 を 4 曲続けて演奏します。エチュード作品 2-1 は彼の 14 歳の時の作品です。若き日の繊細な感情と幻想的な響き、情熱的な高揚が凝縮された作品です。プレリュードの詩的な世界からエチュードの魂の叫びへ、スクリャービンの内なる世界を一つの流れとして描きます。

2 4, ピアノ・ソロ

●秋山啓一・高等部 2 年 (Pf)

ピアノ・ソナタ 第 3 番 ロ短調 第 4 楽章／F.ショパン

ショパン円熟期の傑作と言われる本作品は、サマーコンサートで第 1 楽章を演奏しましたが、今回は、そのフィナーレである第 4 楽章を演奏致します。ロンド形式で構成された本楽章は、主題、副主題を繰り返す度に、激しさを増してゆき、最終章を盛り上げます。「プレスト」という急速なテンポでダイナミックに展開し、転調を繰り返し、最後まで緊張感がみなぎります。

2 5, ピアノ・ソロ

森川絵美菜・ピアノ演奏科 3 年 (Pf)

●ラフ「アルフレッド王」よりアンダンテ・フィナーレ／F.リスト

ラフ作曲のオペラ『アルフレッド王』をリストが編曲したものです。ラフはリストの演奏に感銘を受け助手になった人物です。『アルフレッド王』はリストの指揮で初演され成功を収めました。今回演奏するアンダンテ・フィナーレは、オペラのストーリーが目に浮かぶような曲調となっており、終盤にかけて盛り上がりを見せる編曲はまさにリストによるものと感じさせます。前半は音の綺麗さを大事に、後半は華やかな場面を表現できるよう演奏します。ラフのオペラの世界、そしてリス

トならではの編曲を楽しんでお聴きいただけますと嬉しいです。

26, ピアノ・ソロ

原田光・ピアノ調律科2年 (Pf)

●ピアノ・ソナタ 第3番 作品5 第1楽章/J.ブラームス

5楽章からなるソナタである。1853年秋から冬にかけて、デュッセルドルフでかきあげられた。1番と2番のソナタよりも大きな規模をもっており、ブラームスはこの3番でピアノ・ソナタの終着駅にたどりついたと考えたようである。本日演奏する1楽章はソナタ形式で、冒頭の動機が全曲に渡って用いられている。情熱的な第1主題とは対照的な穏やかで美しい第2主題にはブラームスの純粋で繊細な一面がよく表れている。

27, ファゴット・ソロ〈ピアノ室内楽〉

嶋田美波・管楽器リペア科2年 (Fg)

原田光・ピアノ調律科2年 (Pf)

●ファゴットとピアノのためのソナタ 作品71/C.ケクラン

シャルル・ケクラン (1867-1950) は1918年から1919年にかけて、この曲を作曲しました。ケクランはフランスに生まれ、パリ音楽院で学びました。歳の近い作曲家にはドビュッシーやラヴェルがいます。今回は1.2.3楽章あるファゴットソナタの1.3楽章を演奏します。1楽章は神秘的な雰囲気、ファゴットの旋律が静かに始まります。3楽章は拍子が複雑に絡み合い、聞き応えのある楽章です。ファゴットの魅力が沢山詰まった曲です。

28, ヴァイオリン・ソロ〈ピアノ室内楽〉

渡辺弘暉・特待生 (Vn)

浦岡蒼太・高等部3年 (Pf)

●ヴァイオリンソナタ 第3番 第1楽章/J.ブラームス

この曲は、ヴァイオリンソナタという室内楽の形式で、ブラームスの力強い叙情性、情熱が表現されている点が特徴です。ヴァイオリンとピアノが、互いに独立した旋律を奏でながら、力強く対話する様子が描かれています。特に、ヴァイオリンの技巧的なパッセージと、それを支えるピアノの厚みのある響きが印象的です。

29, バレエパフォーマンス

東條具美・ヴァイオリン製作科2年 (Ballerina)

小松澤真央・音楽オペラ科1年 (Ballerina)

矢木萌・専門部 (Ballerina)

姫野裕子・音楽療法学科2年 (Chor)

嶋田美波・管楽器リペア科2年 (Chor)

岩岡あゆみ・専門部 (Chor)

山田ひかり・単科 (Chor)

渡辺弘暉・特待生（1stVn）

ニ田由希子・弦演奏科 2 年（2ndVn）

西村寛輝・ヴァイオリン製作科 1 年（2ndVn）

原澤祐介・高等部 3 年（2ndVn）

久下澄江・弦演奏科 1 年（Vla）

菅原千尋・ヴァイオリン製作科 2 年（Vc）

秋山啓一・高等部 2 年（Pf）

箕輪健太・指導講師（Cond）

●雪のワルツ／P. チャイコフスキー

毎年クリスマスシーズンに上演される『くるみ割り人形』チャイコフスキーがバレエのために作曲した三大バレエの一つであり、子どもから大人まで楽しめる作品。その中から、雪が風に舞う美しい情景「雪のワルツ」を、バレエと演奏と合唱でお届けいたします。演奏と合唱はこの日のために集まったメンバーが箕輪先生の指揮の元、繊細で幻想的な音楽を奏でます。

動く絵画、目で見える音楽と言われるバレエ。雪の精が舞い踊り、皆さまを素敵な雪の世界へ誘います。

30, 合唱

田中冴門・ジャズミュージシャン科 3 年

森川絵美菜・ピアノ演奏科 3 年

城間翔・声楽オペラ科 2 年

西岡剛・声楽オペラ科 2 年

宮本朱華・アニソン声優科 1 年

安田真鼓・高等部 2 年

浅賀あゆみ・専門部

鬼頭伸英・研究科

松井苑子・単科

有銘哲也・指導講師（Cond）

中村明子・指導講師（Pf 伴奏）

●The Lord bless you and keep you／J.ラター

●夏の日の贈りもの／加賀清孝

●365 日の紙飛行機／角野寿和・青葉紘希

1 曲目はゆったりとした曲調で、旧約聖書民数記の第 6 章 24 節から 26 節の聖句がそのまま歌われます。祝福の言葉を基にした美しい曲です。

2 曲目はいつかの夏の日の記憶を、柔らかなハーモニーに託して歌います。過ぎ去った日々への郷愁と、今を生きる温もりが交差する一曲です。

3 曲目は、2015 年度後期 NHK 連続テレビ小説『あさが来た』の主題歌になった曲です。日々の生活に感謝しながら前向きに歩いていく、爽やかで力強い曲です。

3 1, 合唱

田中冴門・ジャズミュージシャン科3年

崎尾悠人・高等部3年

三島結子・高等部3年

中島 雅斗・ピアノ演奏科2年

前山登希子・ピアノ演奏科2年

原田光・ピアノ調律科2年

浅賀あゆみ・専門部

高橋美奈・専門部

城間翔・声楽オペラ科2年

西岡剛・声楽オペラ科2年

宮間陽子・単科

菊地功乃典・作曲アレンジ科1年

鈴木和紀子・専門部

久下澄江・弦演奏科1年

鬼頭伸英・研究科

長澤利香・研究科

前田明香・研究科

小玉麟太郎・高等部1年

須藤 亜香莉・高等部1年

日比基就・高等部1年

安田真鼓・高等部2年

柳瀬凜音・高等部1年

齋木駿・専門部

矢木萌・専門部

小松澤真央・声楽オペラ科1年

●マイバラード／松井孝夫

●童謡唱歌四季メドレー

マイバラードは、心を合わせ、互いを理解し合うことで、素敵な世界を築くことができるという思いが込められた合唱曲です。

続く「童謡唱歌四季メドレー」では、「村祭」「虫の声」から「たきび」「冬の夜」へと、秋から冬へと移ろう季節の情景を、懐かしい旋律とともに歌います。

それぞれの曲がもつ季節の彩りと、音楽に込められた思いを感じながらお聴きください。

3 2, 2 台ピアノ

岩岡あゆみ・専門部 1 年 (Primo)

藤野遼河・ピアノ調律科 2 年 (Secondo)

●リンダハラ／C.ドビュッシー

この曲はスペイン・グラナダのアルハンブラ宮殿にある「リンダラハの中庭」に着想を得た作品。アラビア風の旋律と繊細なハーモニーが、陽光と影の揺らめきを思わせる。ドビュッシーらしい色彩豊かな響きが、二台ピアノによって立体的に広がり、異国の香りと静かな情熱が溶け合う一曲です。作品の中間部以降の嬰ハ音によるハバネラのリズムにも注目しながらお聴きください。

3 3, 2 台ピアノ

長澤利香・研究科 (Primo, Secondo)

前山登希子・ピアノ演奏科 2 年 (Secondo, Primo)

●ワルツ 作品 39／J.ブラームス

ワルツ作品 39 はブラームスが友人に贈った小品集でウィーンの舞曲の優雅さとドイツ的な温かみを併せ持つ名作です。2 台ピアノ版では軽やかなリズムと豊かなハーモニーが重なり合い、より鮮やかに響き合い、ブラームス特有のロマン的な情緒を味わうことができます。志村先生の楽しく情熱的な授業を受け、好きなブラームスを 2 台ピアノで弾けることが嬉しく思います。

プリモとセコンドを途中交代しつつ演奏いたします。

3 4, 2 台ピアノ

中内真理子・単科 (Primo)

真島圭・指導講師 (Secondo)

●2 台のピアノのための組曲第 2 番 作品 17 より「タランテラ」／S.ラフマニノフ

組曲第 2 番の終曲となるこのタランテラは、闇の中で踊り狂うような、幻想的な哀しみと喜びを感じます。重厚な和音と、息もつかずに駆け抜ける速弾き。様々なモチーフが巧妙に組み合わせられ、2 台のピアノの音が合わさるとこんな壮大な世界になるのかと新鮮な感動があふれる曲です。難しくて溺れそうになりながら、真島先生が命綱になってくださるのを頼りに夢中で取り組んできました。この曲への感動を表せますように頑張ります。

35, 2台ピアノ

森川絵美菜・ピアノ演奏科3年 (Primo)

松澤亜実・卒業生 (Secondo)

●『カルメン』演奏会用組曲より

第1番 闘牛士、第3番 ハバネラ、第9番 ジプシーの踊り／G.ビゼー
ビゼーの最高傑作とも言われ大変有名なオペラ『カルメン』より、代表的な3曲を演奏します。
闘牛士：オペラ全体を表現する重要な楽曲で、軽快なメロディから始まり、途中に闘牛士の歌のテーマが盛り込まれます。

ハバネラ：カルメンが真面目な兵士のホセをこの歌で挑発します。

ジプシーの踊り：カルメンを中心にジプシー達が酒場で踊り狂うシーンの曲です。異国情緒漂う曲調に妖麗な雰囲気が特徴的です。

オペラの場面を想像しながらお聴きいただけると嬉しいです。2台ピアノならではの迫力ある演奏をお楽しみください。